

# 自主映画の、 まだ見ぬ領域へ

15:00~



『22歳の叫び』

2018年/31分/監督:瓜生遼太郎

22歳。青春真っ盛りの大学生。臆病すぎて愛を伝えられず、孤独に苦しんでいた僕は映画で想いを叫ぼうと思った。カメラを持った僕は、生まれ育ったヒロシマの原爆、そして目の前に現れた戦争の気配と向き合い始める。いま生きている世界の現実を見つめ、平和を願う表現者として愛を伝える決意をした時、僕の中の「珍獣」が覚醒する。これは青二才の映画作家による非戦・私小説映画であり、珍獣プロパガンダ映画である。

15:40~



『忘景』

2017年/84分/監督:松本窓

仲の良い兄弟。しかし受験の失敗から弟は、信頼してきた兄に疑いを持ち始める。弟の変化に気づかず、日常を過ごす兄。大学にも家にも居場所がなくなっていく弟は、ある日、姿を消した。そして兄は弟の行方を追っていくうちにある集団にたどり着く…

17:15~



『食べる虫』

2016年/29分/監督:金子由里奈

何をしてもカメラで記録するアーカイブヲクのゆみは、ある日snsで「自殺する映像を撮って欲しい」という投稿を見つける。ゆみはカメラを一台持って、その少女・みずぎに会いに行く。

18:00~



『白波』

2017年/69分/監督:長尾淳史

中学生の響介は喘息治療のため、湖に浮かぶ島で暮らしていた。そんな彼は島から出たことがなく、島外の高校へ行きたいと望んでいた。しかし、響介の症状は深刻で母・薫はそのまま島に残るよう反対するのだった。そんなある日、島の山頂で不発弾が発見され、島内は大きな騒ぎへと発展する。

19:20~



『地球がこなごなになっても』

2017年/73分/監督:荻颯太郎

17年前、突如として地球に『エイリアン』が襲来した。平穏を取り戻した地球で高校生活を送っている坂上卓弥。何事にも無関心な坂上だったが、転校生の副島麻友に想いを寄せる。ある日、麻友は同級生である盲目の奥本希をいじめからかばったことで、エイリアンのウイルスに感染していることが明らかになってしまい…

20:50~

トークショー

※各回定員を50名とさせていただきます。当日券販売は確約出来かねますので早めのご予約をお願い致します。※各作品上映後には監督関係者から挨拶を予定しております。

TICKET 1作品 ¥500 1日券 ¥1,000

シネマハウス大塚  
2018.9.15

